

令和6年度
第4次静岡市ものづくり産業振興基本計画
実施状況報告書

経済局商工部 産業振興課

*** 目 次 ***

令和6年度 第4次静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について	1
1 はじめに	1
2 基本計画の概要	1
3 実施状況等	2
(1) 施策ごとの実施状況	3
(2) 政策ごとの実施状況	9
4 総括	10
5 各事業の実施状況管理個票	11

令和6年度 第4次静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について

静岡市ものづくり産業振興条例（以下「条例」という。）第8条第7項の規定に基づき、次に掲げる事項について報告します。

1 はじめに

静岡市ものづくり産業振興基本計画（以下「基本計画」という。）は、平成23年3月に議員提案をもとに制定された条例を根拠とし、条例第18条に規定する静岡市ものづくり産業振興審議会及び関係機関と連携を図りながら、平成24年7月、「多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡」を目標に掲げ、第1次基本計画を策定しました。

その後、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化を踏まえ、第2次基本計画（平成27年度～30年度）、第3次基本計画（平成31年度～令和4年度）を経て、令和5年度から令和12年度の8か年を計画期間とした第4次基本計画（以下「本計画」という。）を策定し、施行しています。

2 基本計画の概要

本計画では、静岡市が「SDGs未来都市」や、2050年カーボンニュートラル実現に向けた「脱炭素選考地域」に選定された地域であること、また、時代の要請や国際社会の期待に応えていく視点も踏まえ、発展的な「ものづくり創造都市」の実現に向け、以下のとおり目標を定めています。

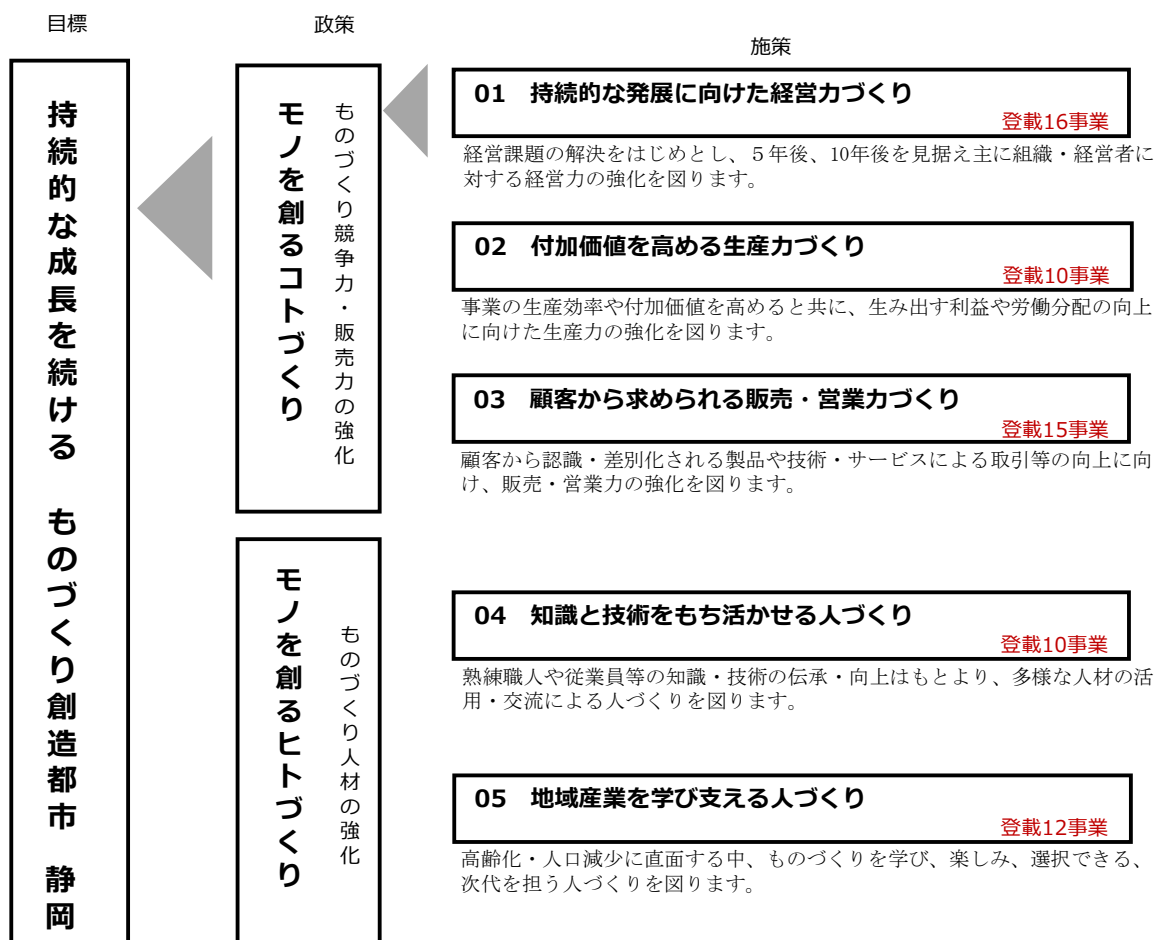
本計画の目標

持続的な成長を続ける ものづくり創造都市 静岡

本計画の策定にあたっては、目標を達成するために、2つの基本政策を定め、さらにそれら政策に基づく5つの施策を定めています。

また、本計画は、第4次静岡市総合計画及び第3次静岡市産業振興プランと連動を図りながら推進するものですが、主たる対象にとって真に必要とされる計画となるよう、現況や動向等を踏まえ、柔軟性のある見直しを図ることとしています。

計画の体系図



3 実施状況等

本計画に位置付けられた登録事業は延べ63事業です。また、これらのうち、本計画の最上位計画である「第4次総合計画」の重点政策と、時代の要請や国際社会の期待に応えていく視点に係る事業を本計画において重点的に取り組む事業として位置付けています。

本計画の目標の達成に向けた事業を実施する担当課は、経済局産業基盤強化本部、商工部3課（産業政策課、産業振興課、商業労政課）に加え、中山間地振興課、男女共同参画・人権政策課などです。

事業担当課では、方針や施策を踏まえるとともに、目標を達成するための達成指標を定め、効率のかつ効果的な事業運営に努めました。

(1) 施策ごとの実施状況

登載事業の達成状況等については、表1のとおり事務事業総点検の評価基準に倣い、「S」から「C」までの4段階による評価を実施しています。なお、達成指標を単年度評価できないものについては、「－」として区分しています。

事業評価	達成指標に対する達成状況
S	期待を上回る（105%以上）
A	期待どおり（90%以上 105%未満）
B	期待を下回る（70%以上 90%未満）
C	期待を顕著に下回る（70%未満）
－	単年度評価できないもの

表1 達成指標に対する各種事業の達成状況

次に、登載事業の達成指標に対する達成状況等を施策ごとに取りまとめ、施策別の実施状況について表2のとおり評価しています。

施策別評価	施策別実施状況の評価
◎	期待を上回る（S＋Aの割合が90%以上 100%以下）
○	期待どおり（S＋Aの割合が70%以上 90%未満）
△	期待を下回る（S＋Aの割合が50%以上 70%未満）
×	期待を顕著に下回る（S＋Aの割合が50%未満）

表2 施策別実施状況の評価

①施策 1 持続的な発展に向けた経営力づくり

施策 1 については、表 3 のとおり、達成指標を明確な数値で設定した 13 事業のうち、「S」が 4 項目、「A」が 5 項目、「B」が 2 項目、「C」が 2 項目となったことから、施策別実施状況の評価を「○（期待どおり）」としています。

事業名称			事業概要	達成指標	R6 事業結果	事業評価
01 持続的な発展に向けた経営力づくり						
1-1		中小企業融資制度による資金調達支援	融資に対する利子及び保証料の一部を助成	融資制度申込件数 700件(R12)	860件/年 (進捗率 122%)	S
1-2		ビジネスに関する相談窓口及び専門家派遣	産業支援施設での窓口相談及び専門家派遣による課題解決を図る	専門家派遣数 145件/年	147/年 (達成率 101%)	A
1-3		事業承継支援事業	次世代に技術やノウハウを引き継ぐため、円滑な事業承継に向けた支援の実施	個別支援着手率 100%	0% (達成率 0%)	C
1-4		事業継続(BCP)に係る啓発	中小企業による防災・減災の取組を促進するための啓発	啓発事業の実施	啓発事業の実施なし	C
1-5	★	IT導入に向けた生産性向上支援事業	IT導入に向けたワンストップ相談窓口を通じた生産性向上を支援	IT導入に関する相談件数 150件/年	332件/年 (達成率 221%)	S
1-6		中小企業等DX支援事業(製造業以外向け)	顧客管理、営業支援などDX導入により生産性の向上等を旨とする事業者等への伴走支援	支援件数 10件/年	10件/年 (達成率 100%)	A
1-7	★	オープンイノベーション推進事業(コ・クリエーションスペース運営事業)	人材・技術・ナレッジ等が還流するエコシステムの確立に向けた交流・共創拠点の実証	プロジェクト創出件数 10件/年	9件/年 (達成率 90%)	A
1-8	★	スタートアップ協業等促進事業	スタートアップとの連携による地域課題解決やスタートアップに対する社会実装等への支援、次世代人材育成を行い、新たな価値の創造を目指す	共創プロジェクト件数 25件(R8)	10件 (達成率 40%)	—
1-9		産業財産権出願事業助成	自ら開発した技術や商品について、特許及び実用新案の出願を行う際に要する経費の助成	出願件数 12件/年	10件/年 (達成率 83%)	B
1-10	★	オープンファクトリー推進事業	産官連携による工場見学・ものづくり体験を基軸とした地域活力の向上を図る	オープンファクトリーへの参加が自社にとって有益だったと捉えた企業の割合 70%	93.5% (達成率 133%)	S
1-11	★	ブラモデル化計画推進事業	「環境づくり」「人財づくり」「コンテンツづくり」の3つの柱で市民等が「ブラモデルのまち」を体感し、本市のシティプロモーションとブラモデル産業のPRを推進	本市イベント参加者の「ホビーのまち静岡」の認知度 80%(R12)	68.5% (達成率 85%)	B
1-12	★	企業立地促進事業	地域産業の高度化、活性化及び雇用機会の拡大に向けた企業の誘致及び留置を推進	企業立地件数 20件/年	19件/年 (達成率 95%)	A
1-13		企業立地用地開発推進事業	新規企業の進出・既存企業の生産性向上を促進し、企業誘致・留置を図るため、企業立地用地の確保を促進	開発候補地に対して、開発事業者の決定及び事業着手	地権者説明会の実施及び企業意向の把握	—
1-14		(主)山脇大谷線(小鹿～宮川)道路整備事業	物流の効率化に向け、恩田原・片山土地区の工業団地へのアクセス整備等の実施	事業区間(L=1.5km)の4車線共用	※事業費ベース (達成率 24%)	—
1-15		静岡産業支援センター「ツインメッセ静岡」管理運営事業	ツインメッセ静岡の貸館を通じた経済活動支援及び広域物資拠点等公共的機能の提供	施設利用率 40%以上/年	50%/年 (達成率 125%)	S
1-16		越境EC支援事業	越境ECに取り組む事業者に対し、専門家による伴走支援を行うことで、海外販路拡大を支援	支援者数 8者/年	8者 (達成率 100%)	A

表 3 施策 1 達成状況

★マークは重点的に取りくむ事業

②施策2 付加価値を高める生産力づくり

施策2については、表4のとおり、達成指標を明確な数値で設定した7事業のうち、「S」が3項目、「A」が1項目、「B」が3項目となったことから、施策別実施状況の評価を「△(期待を下回る)」としています。

		事業名称	事業概要	達成指標	R6 事業結果	事業評価
02 付加価値を高める生産力づくり						
2-1	★	中小企業事業高度化事業助成	競争力の強化や高付加価値化に向け、市内製造拠点に機械設備を導入する経費の助成	機械設備設置件数 30件/年	25件/年 (達成率 83%)	B
2-2		生産性向上に取り組む中小企業支援(先端設備等導入計画認定業務)	労働生産性向上を図るため、取得設備の固定資産税の負担を3年間にわたって支援	実施	実施	—
2-3		中小企業等DX支援事業(製造業向けデータ活用)	製造業の生産性向上や受注増などによる競争力強化を図るため、専門家によるデータ分析や現場解析などに取組む実践型支援	支援件数 10件/年	11件/年 (達成率 110%)	S
2-4		現場改善支援事業	専門アドバイザー派遣による5Sや技術力向上、製品の高付加価値化を支援	支援事業者数 15者/年	12者/年 (達成率 80%)	B
2-5		産学連携事業(産学共同研究委託事業)	高度な知識・技術・ノウハウを持つ大学等と共同で取り組む調査・研究・開発を支援	委託契約件数 6件/年	9件/年 (達成率 150%)	S
2-6		新商品開発支援事業(静岡おみやプロジェクト)	新商品開発に向けた開発から販売まで一貫したマーケティング手法の習得を支援	新商品開発数 6件/年	6件/年 (達成率 100%)	A
2-7		海洋産業クラスター創出支援事業	好循環を生み出すための産業クラスターを構築することによる海洋関連産業の育成	支援件数 6件/年	11件/年 (達成率 183%)	S
2-8		グリーン産業創出支援事業	脱炭素化に資する新技術や新商品の開発・実証事業等に対する経費の助成	補助採択件数 4件/年	3件/年 (達成率 75%)	B
2-9		中小企業者省エネルギー設備導入事業助成	CO2削減の意識醸成を図り、省エネルギー化に向け、省エネルギー設備の導入経費を助成	CO2排出量50%以上削減(R12)	— ※R5年度で終了	—
2-10	★	オクシズ漆の里構想事業	ウルシを育て、漆を製品化し、地場産業等で活用する「漆の地産地消」体制の構築	植林地の維持	植林地の維持	—

表4 施策2 達成状況

★マークは重点的に取り組む事業

③施策3 顧客から求められる販売・営業力づくり

施策3については、表5のとおり、達成指標を明確な数値で設定した14事業のうち、「S」が3項目、「A」が7項目、「B」が1項目、「C」が3項目であったことから、施策別実施状況の評価を「○（期待どおり）」としています。

	事業名称	事業概要	達成指標	R6 事業結果	事業評価
03 顧客から求められる販売・営業力づくり					
3-1	★ 持続的発展に向けた競争力強化事業助成	付加価値を高める競争力・販売力の強化に向け、販路開拓と新商品開発に係る経費を助成	事業活用件数 33件/年	39件/年 (達成率 118%)	S
3-2	大規模展示会共同出展事業	国内最大の展示会への共同出展による中小製造事業者の競争力の強化を支援	名刺交換を実施した件数のうち、商談に進んだ割合 11%	8.13% (達成率 73%)	B
3-3	首都圏販路拡大支援事業	テストマーケティングを通じた商品開発、商談会による商品開発力や商談力の向上を支援	事業進捗率 100%	100% (達成率 100%)	A
3-4	中小企業の海外展開に対する支援	海外展開に向けたテストマーケティングや商談会、営業代行等の支援の実施	商談件数 36件以上/年	32件/年 (達成率 88.8%)	A
3-5	日本貿易振興機構静岡貿易情報センター事業助成	静岡貿易情報センターへの助成によるスケールメリットを生かした海外展開等を支援	セミナー開催回数 6件/年	3件/年 (達成率 50%)	C
3-6	伝統工芸等ものづくり事業者支援事業	商品開発、各種プロモーション、販路開拓までをプロデューサー指導のもと各種支援の実施	展示会等出展 1回/年	1回/年 (達成率 100%)	A
3-7	ニューウェーブしずおか創造事業助成(地場産業支援事業)	商品開発と販路開拓を行う「ニューウェーブしずおか創造事業」の実施経費の助成	商品開発点数 延べ30点(R12)	20点/年 累計 20点 (進捗率 66.7%)	A
3-8	★ 特産品展示コーナー(駿府菜市)運営事業	地場産品の愛用促進と販路開拓に向け、駿府菜市「特産品展示コーナー」での企画展示	工芸品の年間売上金額 31,600千円/年	42,200千円/年 (達成率 133%)	S
3-9	産業フェアしずおか開催事業助成	地元産品のPRと愛用促進による伝統工芸の振興を図るため、フェア開催経費を助成	来場者数 80,000人/年	47,100人/年 (達成率 58%)	C
3-10	伝統工芸品産業育成・振興事業(しずおか特産品まつり)	市民に宣伝・PRし、業界の育成・振興を図るため、しずおか特産品まつりの開催	来場者数(春・秋) 6,900人/年	16,500人/年 (達成率 239.1%)	S
3-11	ホビーのまち静岡推進事業	市のブランドイメージと求心力の向上に向け、ホビー推進協議会静岡の事業に対する助成	市内イベント参加者の「ホビーのまち静岡」の認知度 80%(R12)	68% (達成率 85%)	A
3-12	ホビー産業育成支援事業	市の求心力の向上に向け、イベント、展示、パンフレット等によるホビー産業の情報発信	市内イベント参加者の「ホビーのまち静岡」の認知度 80%(R12)	68% (達成率 85%)	A
3-13	プラモデル化計画推進事業	模型業界と地元企業等のパートナーシップ構築を目的としたコラボイベント・サービスの創出	コラボイベントの実施件数 15件(R12)	9件 (達成率 60%)	C
3-14	地域産業振興ブランド認証事業	市民が選ぶ「しずおか葵プレミアムAWARD」の認証・PRによるシティブロモーションの推進	ブランド認知度 55%	49% (達成率:89%)	A
3-15	女性活躍ブランド認定事業	女性活躍ブランドの認定によるモチベーションアップや取組波及等、女性の活躍を推進	ブランド商品認定数 延べ85件(R12)	45件 (達成率:53%) ※R5年度までの認定件数	—

表5 施策3 達成状況

★マークは重点的に取り組む事業

④施策4 知識と技術をもち活かせる人づくり

施策4については、表6のとおり、数値目標を明確な数値で設定した9事業のうち、「S」が2項目、「A」が3項目、「B」が0項目、「C」が4項目であったことから、施策別実施状況の評価を「△（期待を下回る）」としています。

	事業名称	事業概要	達成指標	R6 事業結果	事業評価
04 知識と技術をもち活かせる人づくり					
4-1	★ 地場産業後継者育成事業（クラフトマンサポート事業）	「クラフトマンサポート事業」として地場産業界の後継者の確保、若手職人の育成・定着を支援	新規制度利用者数（長期支援・雇用奨励） 5人/年	4人/年 （達成率 80%）	A
4-2	伝統工芸技術アーカイブス事業	伝統工芸技術で存続の危機にある技法を映像化等によりアーカイブし保存、継承を図る	映像化本数 2本/年	1本/年 （達成率 50%）	C
4-3	地場産業支援事業助成（伝統工芸技術保存講習会）	業界の若手後継者に対する「伝統工芸技術保存講習会」の実施に係る経費の助成	講習会参加者数 延べ36名/年	41名/年 （達成率 113.8%）	S
4-4	★ 中小企業DX等人材育成支援事業	中小製造事業者の競争力強化を図るため、事業者が在職者のリスキリングに取組む際の受講費の一部を助成	人材育成に取り組む中小製造事業者の割合 90%（R12）	61% （達成率 67.8%）	C
4-5	技能功労者表彰事業	市の産業の向上に寄与し、又は功績のあった技能者を静岡市技能功労者として表彰	表彰者数 26者/年	16者/年 （達成率 61.5%）	C
4-6	CSR活動表彰事業	事業活動の維持拡大と社会的健全性のある経営を実施する中小企業を表彰	表彰者数 4者/年	— ※R5年度で終了	—
4-7	伝統工芸技術秀士顕彰・PR事業	本市の優れた伝統工芸の技術を継承するため優れた技術の保持者を顕彰・PR	表彰者数 1者（R12）	0者/年 （進捗率 0%）	C
4-8	中小企業技術表彰事業	新規、又は独自性の高い技術を持ち、意欲的に事業活動を行う中小製造事業者を表彰	表彰者数 2者以上/年	2者/年 （達成率 100%）	A
4-9	多様な人材の活躍応援事業所表彰事業及び取組の見える化	女性をはじめとした多様な人材の活躍促進に積極的に取組む事業所を表彰	表彰者数 5者/年	5者/年 （達成率 100%）	A
4-10	ダイバーシティ経営推進のための中小企業支援事業（ダイバーシティ経営推進講演会開催事業）	経営者・管理職を対象とした講演会等による多様な人材が活躍できる環境づくりの推進	事業がダイバーシティ経営推進に取り組むきっかけとなったと回答した企業の割合 90%/年	100% （達成率 111%）	S

表6 施策4達成状況

★マークは重点的に取り組む事業

⑤施策5 地域産業を学び支える人づくり

施策5については、表7のとおり、達成指標を明確な数値で設定した12事業のうち、「S」が4項目、「A」が7項目、「B」が0項目、「C」が1項目となったことから、施策別実施状況の評価を「◎（期待を上回る）」としています。

	事業名称	事業概要	達成指標	R6 事業結果	事業評価
05 地域産業を学び支える人づくり					
5-1	★ プラモデル化計画推進事業(ものづくりプラモデル大学)	「模型の世界首都・静岡」で「プラモデル」業界を支える人材の育成を目的に「プラモデル」について学ぶ実践的な講座	講座受講者の満足度 80%	80.6% (達成率 100%)	A
5-2	★ プラモデル化推進事業(ものづくりキャリア教育)	静岡大学教授及び模型メーカー社員を講師として学校へ派遣し、本市のプラモデル産業を知り・体験し・理解する「ものづくりキャリア教育推進事業」を実施	授業を通じてものづくりに興味を持った児童の割合 90%	90% (達成率 100%)	A
5-3	★ プラモデル化推進事業(静岡ホビーショー小中高生招待)	静岡ホビーショー小中高生招待日において、市内小中高生の招待事業の実施及び模型メーカー等と協力した合同体験会の運営	招待事業を通じてものづくりに興味を持った児童の割合 90%	92% (達成率 102%)	A
5-4	★ プラモデル化推進事業(全国プラモデル選手権大会)	全国の高校生を対象にしたプラモデルの展示会及びコンテスト	全国大会への参加校数 100校(R12)	25校 (達成率 25%)	C
5-5	子どもクリエイティブタウンでの職場体験等	ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次世代を担う人材を育成	年間利用者数 100,000人/年	124,640人/年 (達成率 124%)	S
5-6	地場産品体験学習事業	ものづくりと地場産品に対する興味を喚起し、地場産業のPRと将来の後継者育成を図る	体験学習申込学校数 延べ40校/年	38校/年 (達成率 95%)	A
5-7	駿府匠宿運営事業	駿府匠宿の運営及び創作体験や展示を通じた工芸に親しみ歴史に触れる機会の提供	利用者満足度 95%/年	96.5% (達成率 101.6%)	A
5-8	生涯学習施設でのものづくり体験学習機会の提供	ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次世代を担う人材を育成	主に小学生を対象とした機会提供数 8施設・12講座(R12)	22施設・31講座 (達成率 275%・258%)	S
5-9	★ 地元就職・UIターン就職促進事業	市内で働く社会人との交流機会を提供し、若者の企業研究や就労意欲の促進を図る	将来の職業の選択肢が広がった回答の割合 90%/年	90%/年 (達成率 100%)	A
5-10	★ 生涯現役地域づくり環境整備事業(高齢者就労促進事業)	シニア向け就労サポート窓口「NEXTワークしずおか」の運営により活躍できる環境の整備	高齢者の雇用・就業数280人/年	485人/年 (達成率 173%)	S
5-11	地域産業地域おこし協力隊	地域おこし協力隊による地場産品・伝統工芸品の情報発信の強化、販売促進、担い手の育成の支援を実施	地域おこし協力隊の隊員数2名	2名 (達成率 100%)	A
5-12	★ 【再掲】オープンファクトリー推進事業	産官連携による工場見学・ものづくり体験を基軸とした地域活力の向上を図る	オープンファクトリーへの参加が自社にとって有益だったと捉えた企業の割合 70%	93.5% (達成率 133.5%)	S

表7 施策5 達成状況

★マークは重点的に取り組む事業

(2) 政策ごとの実施状況

政策ごとに評価をみると、「モノを創るコトづくり」に関しては3施策のうち1施策が「○（期待通り）」、2施策が「△（期待を下回る）」となりました。「△（期待を下回る）」になった施策である「持続的な発展に向けた経営力づくり」は、ものづくり産業の持続的な発展に向けて経営力の強化を図るものであり、「付加価値を高める生産力づくり」は、ものづくりの根幹である「モノを創る」事業の生産性効率を高めるとともに、生み出す利益や労働分配の向上に向けた生産力の強化を図るものです。昨今の生産コストの上昇や人材不足への対応も含め、事業者は競争力・販売力を高めていくことが求められていることから、製品や技術・サービスの付加価値を高め、ものづくり産業の持続的な成長を遂げていくための競争力・販売力の強化に向けた支援を行っていきます。

「モノを創るヒトづくり」に関しては、2施策のうち1施策が「△（期待を下回る）」、1施策が「◎（期待を上回る）」となりました。「△（期待を下回る）」になった施策である「知識と技術をもち活かせる人づくり」は、熟練職人や従業員等の知識・技術の伝承・向上はもとより、多様な人材の活用・交流による人づくりを図るものです。本市の優れた伝統工芸の技術を継承するため、現状の事業スキームを改善し、後継者の育成等を支援していきます。

政策	施策	登載 事業数	事業評価	該当事業数	「期待どおり」 (S+A)以上の 事業の割合	施策ごとの 評価
モノを創る コトづくり	1 持続的な発展に向けた経営力づくり	16 (評価対象13)	S	4	69%	△
			A	5		
			B	2		
			C	2		
	2 付加価値を高める生産力づくり	10 (評価対象7)	S	3	57%	△
			A	1		
			B	3		
			C	0		
	3 顧客から求められる販売・営業力づくり	15 (評価対象14)	S	3	71%	○
			A	7		
			B	1		
			C	3		
モノを創る ヒトづくり	4 知識と技術をもち活かせる人づくり	10 (評価対象9)	S	2	56%	△
			A	3		
			B	0		
			C	4		
	5 地域産業を学び支える人づくり	12 (評価対象12)	S	4	92%	◎
			A	7		
			B	0		
			C	1		

表8 達成状況一覧

4 総括

目標である「持続的な成長を続ける ものづくり創造都市 静岡」の達成には、基本計画として定めた2つの政策の両方がバランス良く達成されている必要があります。今後も引き続き登載事業の進捗管理を図るため、登載事業ごとに達成指標を設定し、施策・政策の両面で評価を実施していきます。

また、進捗管理においては、社会情勢の変化や事業者のニーズ等に応じた機動的かつ柔軟な改善を実施するため、毎年度実施状況を調査・確認するとともに、事業計画の見直しを図り、適切な支援が行えるよう取り組んでいきます。

(添 付 資 料)

各事業の実施状況管理個票

(P 1 1 ～ 4 3)

1-1

事業	ものづくり基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)		令和6年度	
	事業名	中小企業融資制度による資金調達支援		予算額	130,000 千円
				決算見込額	91,654 千円
	事業概要	融資に対する利子及び保証料の一部を助成	取組状況	事業結果	・市内の中小企業が、経営上必要とする資金を円滑に調達できるよう融資制度を設け、利子及び信用保証料の一部を助成した。 制度融資申込件数 860件 (内訳) 小口資金 20件 短期経営改善資金 220件 産業振興資金 450件 創業支援資金 18件 設備投資強化資金 2件 経営改善資金 150件
	達成指標	制度融資申し込み件数 700件(R12)	進捗率等	R7.3.31 現在	860件 (達成率)122.8 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	⑦商工・物流	事業評価	・静岡県制度融資に比べて金利等の条件が有利な経済変動対策貸付(新型コロナウイルス感染症対応枠)の新規借入が令和5年度で終了したことにより、令和6年度は新規申込件数が227件増加し、目標を達成した。 ・引き続き、事業者のニーズや社会経済動向を踏まえ、必要に応じて融資制度の新設を検討していく。
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します		
		施策	02 経営安定化に向けた資金繰り支援		
	産業振興プランの位置づけ	分野		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等
		政策			
		施策			
	担当課等	産業振興課		その他(特記事項)	

1-2

事業	ものづくり基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)		令和6年度	
	事業名	ビジネスに関する相談窓口及び専門家派遣		予算額	32,661 千円
				決算見込額	29,021 千円
	事業概要	産業支援施設での窓口相談及び専門家派遣による課題解決を図る	取組状況	事業結果	産業支援施設である、静岡産学交流センターにおいて、以下の支援を実施した。 ・中小企業診断士による無料窓口相談の実施 平日:13時～19時 ・IT専門家による無料WEBマーケティング相談の実施 週1～2日実施 ・4分野の専門家派遣を実施 (1)経営分野 (2)情報化分野 (3)マーケティング分野 (4)デザイン分野
	達成指標	専門家派遣数 145件/年	進捗率等	R7.3.31 現在	147件 (達成率)101 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	⑦商工・物流	事業評価	・週に1度のIT相談では、事業者のニーズに応えることは難しくなっているため、令和6年度から窓口相談の日数を増加した。 ・今後もニーズに合わせて相談内容の充実を図っていく。
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します		
		施策	02 経営基盤・競争力の強化		
		分野		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等
		政策			
		施策			
	担当課等	産業政策課		その他(特記事項)	

1-3

事業	ものづくり基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和6年度	
	事業名	事業承継支援事業	予算額		871 千円	
			決算見込額		871 千円	
	事業概要	案件の掘り起し及び県の事業承継引継ぎ支援センターとのマッチング等の支援	取組状況	事業結果	・建設業及び製造業の60代以上の経営者199者に対しアンケート調査を実施した。 ・調査項目は後継者の有無、相談先の有無、静岡県事業承継・引継ぎ支援センターの認知度等とした。 ・199者のうち81者から回答を得た(回答率:40.7%) (調査結果) 後継者が決まっていない 11者 利用したい支援メニューがある 24者 相談済、後継者が決定している 36者 廃業予定・廃業済 8者 事業承継済 2者	
	達成指標	個別支援着手率	進捗率等	R7.3.31 現在	0%	(達成率)0 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	⑦商工・物流	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	・年度末にアンケート調査を実施したため年度内に支援対象者の選定に至らなかった。 ・R7年度の中で、支援対象者とする条件を選定し、支援対象者を静岡県事業承継・引継ぎ支援センターに取り次いで連携した支援を行うための仕組みを構築する。	
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します			
		施策	02 経営基盤・競争力の強化			
		分野				
		政策		事業評価		
		施策				
		施策				
	担当課等	産業振興課		その他(特記事項)		

1-4

事業	ものづくり基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和6年度	
	事業名	事業継続(BCP)に係る啓発	予算額		0 千円	
			決算見込額		0 千円	
	事業概要	中小企業による防災・減災の取組を促進するための啓発	取組状況	事業結果	・当課主催での啓発活動は実施しなかったものの、静岡県のBCP研究会に参加し、情報共有を行っているほか、各種出展事業等における説明会などにおいて、リスク管理に関する説明も盛り込むなどの取組により、事業者の意識向上を促進した。	
	達成指標	啓発事業の実施	進捗率等	R7.3.31 現在	啓発事業の実施なし	(達成率) (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	—	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	・事業者から相談があった際には、静岡市産学交流センターや静岡商工会議所に取り次ぐことで、事業者と中小企業診断士等の専門家とのマッチングを進め、専門家の支援のもと事業継続に関する対策を行ってもらうよう促していく。	
		政策	—			
		施策	—			
		分野				
		政策		事業評価		
		施策				
		施策				
	担当課等	産業振興課		その他(特記事項)		

1-5

事業 1-5	ものづくり基本計画		方針（持続的な発展に向けた経営力づくり）		令和6年度			
	事業名		IT導入に向けた生産性向上支援事業		予算額	4,900 千円		
					決算見込額	4,800 千円		
	事業概要		IT導入に向けたワンストップ相談窓口を通じた生産性向上を支援		取組状況	事業結果	・静岡商工会議所への委託により「ITなんでも相談窓口」を設置。窓口相談、巡回指導、専門家派遣、セミナーを実施し、IT導入の促進と支援を行った。	
	達成指標		IT導入に関する相談件数 150件/年		進捗率等	R7.3.31 現在	332件	(達成率)221.3 (%)
	総合計画の位置付け (分野別)		分野	—	事業評価	次年度に向けた改善点・ 目標の未達成理由等	・窓口で相談に対応する商工会議所職員のみならず、IT活用アドバイザーも市の実施するデジタル関連の支援施策を理解し、相談内容に応じて市の施策に繋がられるように取り組む。	
			政策	—				
			施策	—				
		分野						
		政策						
		施策						
担当課等		産業振興課		その他 (特記事項)				

1-6

事業 1-6	ものづくり 基本計画	方針（持続的な発展に向けた経営力づくり）			令和6年度		
	事業名	中小企業等DX支援事業（製造業以外向け）		予算額	7,000 千円		
				決算見込額	6,930 千円		
	事業概要	顧客管理、営業支援などDX導入により生産性の向上等を目指す事業者等への伴走支援		取組状況	事業結果	市内中小企業10社に対して、デジタル活用による業務改善の伴走支援を実施した。 ・支援回数10回（企業現地5回、オンライン5回） ・成果発表会を開催し、市内中小企業に対して事例を展開（令和7年3月・約50名参加） ・事例集を市HPに掲載し、市内中小企業約1,000社に展開 ・伴走支援で立案したデジタル活用計画の実現のため、希望する企業に対してデジタルツールを導入するための補助金を交付した	
	達成指標	支援件数 10件/年		進捗率等	R7.3.31 現在	10件/年	（達成率）100（％）
	総合計画 の 位置付け （分野別）	分野	⑦商工・物流	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・「DX」という言葉が、中小企業から敬遠されやすいことがあったため、令和6年度に作成した事例集を示しつつ、募集においてより平易な言葉を用いることで、市内中小企業に「自社でも取り組みそうだ」という認識を持ってもらえるような事業周知を行う。 ・参加した中小企業が、事業期間中も熱量を維持して成果を得られるようにするため、事業期間中にセミナーを実施する。	
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
		施策	05 地域経済におけるDXとGXの推進				
		分野					
		政策					
	施策						
担当課等	産業振興課		その他 （特記事項）				

1-7

事業 1-7	ものづくり基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和6年度		
	事業名	オープンイノベーション推進事業(コ・クリエーションスペース運営事業)	予算額		20,306 千円		
			決算見込額		20,135 千円		
	事業概要	人材・技術・ナレッジ等が還流するエコシステムの確立に向けた交流・共創拠点の実証	取組状況	事業結果	・新規事業創出に向けて、参加者同士の交流・マッチングイベントや学生の市内企業へのインターン事業などを開催することで、異業種間や企業と学生がにつながる機会を創出した。 ・相談件数 192件、うちマッチングした件数106件		
	達成指標	プロジェクト創出件数 10件/年	進捗率等	R7.3.31 現在	9件	(達成率)90 (%)	
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	⑦商工・物流	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	・首都圏等の企業から派遣された外部人材と地域課題の解決を図る地域活性化起業人制度を活用し、首都圏等企業やスタートアップとのマッチングを図る。	
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
		施策	01 協働・共創体制の構築				
	分野						
	政策						
	施策						
	担当課等	産業政策課	その他(特記事項)				

1-8

事業 1-8	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和6年度		
	事業名	スタートアップ協業等促進事業	予算額		230,000 千円		
			決算見込額		164,028 千円		
	事業概要	スタートアップとの連携による地域課題解決 やスタートアップに対する社会実装等への支 援、次世代人材育成を行い、新たな価値の創 造を目指す。	取組 状況	事業結果	・社会課題解決に向けた共創促進のため「知・地域共創コンテスト」を 開催し、選定企業に対し実証実験の支援や事業化に向けたビジネス モデル構築支援を実施した。(応募数298件、選定・入賞:10件) ・スタートアップとの協業による市内企業の経営課題の解決や新規事 業創出の支援を行うため「オープンイノベーションプログラム」を開催 し、選定企業に対し事業アイデアの構築及び事業化に向けた実証事 業の支援を実施した。(事業創出数4件)		
	達成指標	共創プロジェクト件数 25件(R8)	進捗 率等	R7.3.31 現在	10件	40 (%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・「知・地域共創コンテスト」では、実証期間の拡大やテーマとなる社会 課題の構造的な分析を行い、社会実装による社会課題解決の実現性 を高める。	
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーショ ンの創出を推進します				
		施策	04 創業支援の充実				
	分野						
	政策						
	施策						
	担当課等	産業政策課	その他 (特記事項)				

1-9

事業 1-9	ものづくり基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)		令和6年度	
	事業名	産業財産権出願事業助成	予算額		1,200 千円
			決算見込額		1,000 千円
	事業概要	自ら開発した技術や商品について、特許及び実用新案の出願を行う際に要する経費の助成	取組状況	事業結果	・静岡県発明協会と連携し、市内中小製造事業者の産業財産権出願を支援した。 【実績】 支援件数:10件
	達成指標	出願件数 12件/年	進捗率等	R7.3.31 現在	10件/年 (達成率) 83 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 —	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	・知的財産権を保護するとともに新たな付加価値を創出し、競争力強化につなげる。 ・必要な企業に届くよう事業周知を行い、当制度の認知度向上を進めることで利用を促進する。
		政策 —			
		施策 —			
		分野 —			
		政策 —			
		施策 —			
	担当課等	産業振興課	その他(特記事項)		

1-10

事業 1-10	ものづくり基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)		令和6年度	
	事業名	オープンファクトリー推進事業	予算額		2,000 千円
			決算見込額		1,270 千円
	事業概要	産官連携による工場見学・ものづくり体験を基軸とした地域活力の向上を図る	取組状況	事業結果	・令和6年10月に「ファクハク 静岡工場博覧会2024」を開催。 ・市内34社が自社工場を公開し、延べ1,640名の市民が参加した。 ・ファクハクへの参加が自社にとって有益とらえた企業が93.55%となり、目標を上回った。 ・参加した市民のうち92.5%が「とても楽しかった」と回答しており、静岡市の製造業の魅力を発信することができた。
	達成指標	オープンファクトリーへの参加が自社にとって有益だったと捉えた企業の割合 70%	進捗率等	R7.3.31 現在	オープンファクトリーへの参加が自社にとって有益だったと捉えた企業の割合93.55% (達成率) 133 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 —	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	・総合案内所等において、一般の通行人が「イベントを知らなかった」という声が聞かれたことから、イベント自体の認知度向上に注力する必要がある。 ・広報誌への掲載やSNS、首都圏への発信など、静岡市が持つ媒体を活用してより多くの市民に対して認知度が高まるよう取り組む。
		政策 —			
		施策 —			
		分野 —			
		政策 —			
		施策 —			
	担当課等	産業振興課	その他(特記事項)		

事業 1-11	ものづくり基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和6年度		
	事業名	ブラモデル化計画推進事業		予算額	30,890 千円		
				決算見込額	22,167 千円		
	事業概要	「環境づくり」「人財づくり」「コンテンツづくり」の3つの柱で市民等が「ブラモデルのまち」を体感し、本市のシティプロモーションとブラモデル産業のPRを推進	取組状況	事業結果	【環境づくり】 ①民間企業のブラモデルデザイン活用に対する助成 ・ブラモデルデザイン活用補助 4件 ・ブラモニュメント設置補助 3件 ②PRキャンペーン等の実施 ・ブラモニュメントデジタルスタンプラリーの開催 ・市民参加型のランナーアート製作実施 など 【人財づくり】 ①ものづくりキャリア教育(小学校向け) ・市内小学校15校、1,046名に対し、出前授業を実施 ②静岡型学校教育プログラム ・ブラモデルを活用した美術の授業開発に向け、市内中学校(6校)でモデル授業を実施 ・教員、模型メーカー、行政による意見交換会(2回)と教員向け技能講習会(1回)の実施 ③ものづくりブラモデル大学(一般向け) ・受講者30名、修了者28名 ④ホビーショー小中高生招待 ・市内小学校40校を含む3,696人を受入 【コンテンツづくり】 ①第1回全国ブラモデル選手権大会 ・高校生のブラモデルの展示会、コンテストを開催。25校、120名の生徒が参加 ②コラボイベント事業 ・企業、団体等と連携したブラモデルイベント等の実施:9件		
	達成指標	市内イベント参加者の「ホビーのまち静岡」の認知度 80%(R12)	進捗率等	R7.3.31 現在	68.55%	(達成率)85.6 (%)	
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	⑦商工・物流	事業評価	次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等	・新たに2事業(全国ブラモデル選手権大会、静岡型学校教育プログラム)を行ったことで、ブラモデル化計画をさらに発展することができた。 ・ただ事業規模が大きくなっているため、既存事業の効果把握を行ったうえで、必要な事業の精査、見直し等を行う	
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
		施策	02 本市産業特性の活用				
分野							
	政策						
	施策						
担当課等	産業振興課		その他(特記事項)				

事業 1-12	ものづくり基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和6年度		
	事業名	企業立地促進事業	予算額		574,000 千円		
			決算見込額		457,382 千円		
	事業概要	地域産業の高度化、活性化及び雇用機会の拡大に向けた企業の誘致及び留置を推進	取組状況	事業結果	・市外企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、本市の立地優位性・ビジネス環境のPRや助成制度の情報発信を積極的に行うことで、企業立地の促進に努めた。 ・工場等の設置に係る用地取得費や設備投資費、事務所の賃借料に係る助成により企業立地を推進した。 ・首都圏企業の地方移転ニーズを取り込むため、関係団体や県東京事務所と連携し、情報発信や企業訪問等を行い、誘致交渉先となる企業の発掘に努めた。 【実績】 ・市内企業訪問・相談件数 830件 ・市外企業訪問 130件		
	達成指標	企業立地件数 20件/年	進捗率等	R7.3.31 現在	19件	(達成率)95 (%)	
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	⑦商工・物流	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	・コロナ禍により減少していた企業の設備投資意欲が復調し、市内企業における大規模な設備投資の相談が増加しているため、企業訪問等により企業ニーズを把握し、助成制度の拡充や企業の課題解決に向けた伴走支援により、企業立地の早期実現を後押ししていく。 ・首都圏のデジタル関連企業からの進出相談が増えてきているため、物件情報の提供や企業が特に課題としている人材確保のサポートを行うほか、企業ニーズに応じた助成制度を新設し、着実な企業立地に繋げていく。	
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
		施策	03 企業誘致と留置の推進				
		分野					
		政策					
		施策					
	担当課等	産業基盤強化本部		その他(特記事項)			

1-13

事業 1-13	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和6年度	
	事業名	企業立地用地開発推進事業			予算額	15,000 千円
					決算見込額	11,528 千円
	事業概要	新規企業の進出・既存企業の生産性向上を促進し、企業誘致・留置を図るため、企業立地用地の確保を促進	取組状況	事業結果	・市内7箇所の地権者を対象に戸別訪問を行い、現在の土地利用の状況や今後の土地利用の意向について、調査を実施した。 ・その結果、全ての調査対象で、将来企業用地として活用することに対して肯定的な回答が多く、市として一定のまとまった企業用地を確保できる可能性があると判断した。 ・このため、地域ごとに地権者の方に対して、一般財団法人静岡市土地等利活用推進公社とともに説明会を開催し、調査結果とあわせて、今後の開発範囲の決定や、進出を希望する事業者の募集に向けて、静岡市土地等利活用推進公社が地権者のより詳細な意向を確認することを目的に改めて訪問するなど、今後の進め方を説明し、取組への理解と協力を求めた。	
	達成指標	開発候補地に対して、開発事業者の決定及び事業着手	進捗率等	R7.3.31 現在	地権者意向調査の結果及び開発想定区域(案)の設定に関する説明会を開催	(達成率)― (％)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・計画最終年度のR12年度に向け、事業の全体スケジュールに沿って計画的に進めることができる。 ・今後用地創出を想定している箇所は、市街化調整区域で農地を含む箇所もあるため、土地をとりまとめることと合わせて、開発行為や農地転用の許可などの規制に関する基準や運用の見直し、手続きの簡素化などを進め、企業立地が可能となるようにしていく。
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します			
		施策	03 企業誘致と留置の推進			
		分野				
		政策				
	施策					
担当課等	産業基盤強化本部			その他 (特記事項)		

1-14

事業 1-14	ものづくり基本計画		方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和6年度				
	事業名		(主)山脇大谷線(小鹿～宮川)道路整備事業		予算額	975,596 千円				
					決算見込額	975,596 千円				
	事業概要		物流の効率化に向け、恩田原・片山土地区の工業団地へのアクセス整備等の実施		取組状況	事業結果	・令和6年度においては、事業区間の4車線供用に向け、用地取得、道路工事を実施した。			
	達成指標		事業区間(L=1.5km)の4車線供用		進捗率等	R7.3.31 現在	事業区間(L=1.5km)の4車線供用	(達成率)24 ※事業費ベース(%)		
	総合計画の位置付け(分野別)		分野	⑩ 社会基盤分野		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	・引き続き、事業推進に必要な予算を確保し、用地取得や工事を実施していく。		
			政策	01 地域連携や交流の拡大に貢献する道路整備を推進します						
			施策	02 広域から呼び込む道路ネットワークの形成						
		分野								
		政策								
		施策								
担当課等		道路計画課			その他(特記事項)		※供用には用地取得や工事実施が必要となり、供用延長ベースでは成果が表現できないため、事業費ベースにおける進捗とした。			

1-15

事業 1-15	ものづくり基本計画		方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)		令和6年度		
	事業名		静岡産業支援センター「ツインメッセ静岡」管理運営事業		予算額	47,658 千円	
					決算見込額	41,450 千円	
	事業概要		ツインメッセ静岡の貸館を通じた経済活動支援及び広域物資拠点等公共的機能の提供	取組状況	事業結果	・貸館業務については、令和5年に南館の大規模改修工事が完了したこと、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことが作用し、目標を達成した。施設を運営している産業振興協会が模型・ホビーと親和性のある新分野へのアプローチを積極的に行い、ホビー関連催事を多数開催したことも目標達成に寄与した。 ・広域物資拠点としては、南館の大規模改修工事により耐震性が向上し、関係部署や地域と連携しつつ、拠点としての体制を整備している。	
	達成指標		施設利用率 40%以上/年	進捗率等	R7.3.31 現在	50%	(達成率)125 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)		分野	—	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	・南北両館の利用促進に向け、(公財)静岡産業振興協会と催事誘致等において連携していくとともに必要な計画修繕の実施を支援する。
			政策	—			
			施策	—			
			分野				
			政策				
			施策				
	担当課等		産業振興課		その他(特記事項)		

1-16

事業 1-16	ものづくり基本計画		方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和6年度						
	事業名		越境EC支援事業		予算額		5,000 千円					
					決算見込額		4,956 千円					
	事業概要		越境ECに取り組む事業者に対し、専門家により伴走支援を行うことで、市内事業者の海外販路拡大を支援		取組状況		事業結果		・専門家の支援のもと、市内事業者8社の商品を越境ECサイトに出品した。8月下旬から順次出品を開始し、3社の商品計5点の売上となった。 ・商品の認知度を高めるため、アメリカのロサンゼルスでショールームストアを実施したがショールームストア実施期間での売上には至らなかった。			
	達成指標		支援者数 8社/年		進捗率等		R7.3.31 現在		8社		(達成率)100 (%)	
	総合計画の位置付け(分野別)		分野		—		事業評価		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等		・令和6年度は、事業開始年度であったことから準備作業等に時間を要したこと、また、周知期間が不足等により出展事業者の決定も予定より遅れたため、出展期間が当初の予定より短くなってしまった。 ・越境EC内の売れ筋商品の傾向を反映した事業者募集・選定を行い、生産者志向ではなく顧客志向の商品を出品することで売上を向上し、事業者の販路開拓につなげる。	
			政策		—							
			施策		—							
			分野									
			政策									
施策												
担当課等		産業振興課			その他(特記事項)							

2-1

事業 2-1	ものづくり 基本計画	方針（付加価値を高める生産力づくり）			令和6年度	
	事業名	中小企業事業高度化事業助成	予算額		40,000 千円	
			決算見込額		39,779 千円	
	事業概要	競争力の強化や高付加価値化に向け、市内製造拠頭に機械設備を導入する経費の助成	取組 状況	事業結果	・コロナ禍から回復傾向で機械導入需要の高まるなか、補助金を24件交付した。 ・交付した24件のうち、17件が、補助金交付要綱に定義する「省エネに資する機械設備」の設置となり、市内企業の省エネ化に寄与している。	
	達成指標	機械設備設置件数 30件/年	進捗 率等	R7.3.31 現在	25件/年	(達成率)83.3（%）
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・目標件数は未達成であるが、一因として、半導体供給の混乱等により、機械設備の設置が先送りとなった企業があったことが考えられる。 ・機械導入による効率化、省エネ化を促進し地域産業の活性化・高度化に貢献するため、事業周知により一層注力し、支援対象者となる事業者が助成を受けることができるよう促していく。
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します			
		施策	03 新製品・技術開発に向けた支援			
	産業振興 プランの 位置づけ	分野				
		政策				
施策						
担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)			

2-2

事業 2-2	ものづくり 基本計画	方針(付加価値を高める生産力づくり)				令和6年度	
	事業名	生産性向上に取り組む中小企業支援(先端設備等導入計画認定業務)		予算額		0千円	
				決算見込額		0千円	
	事業概要	労働生産性向上を図るため、取得設備の固定資産税の負担を3年間にわたって支援		取組状況	事業結果	・提出された先端設備等導入計画について審査し、認定事務を行った。 【実績】 新規認定件数 58件 変更認定件数 20件	
	達成指標	実施		進捗率等	R7.3.31 現在	実施	—(%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	—	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・今後も適切に認定事務の執行を行い、先端設備の導入による事業者の生産性向上等を支援していく。	
		政策	—				
		施策	—				
	分野						
	政策						
	施策						
	担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)			

2-3

事業	ものづくり基本計画	方針(付加価値を高める生産力づくり)			令和6年度		
	事業名	中小企業等DX支援事業 (製造業向けデータ活用)	予算額		7,000 千円		
			決算見込額		7,000 千円		
	事業概要	製造業者の生産性向上や受注増などによる競争力強化を図るため、専門家によるデータ分析や現場解析などに取組む実践型支援	取組状況	事業結果	市内中小企業(製造業)11社に対して、Excelのマクロ機能活用による業務改善の伴走支援を実施した。 ・支援回数10回(マクロに関する座学6回、現地訪問3～4回) ・成果発表会を開催し、市内中小企業に対して事例を展開(令和7年3月・約90名参加) ・事例集を市HPに掲載し、市内中小企業約1,000社に展開 ・伴走支援で立案したデジタル活用計画の実現のため、希望する企業に対してデジタルツールを導入するための補助金を交付した。		
	達成指標	支援件数 10件/年	進捗率等	R7.3.31 現在	支援件数11件/年	(達成率)110 (%)	
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	⑦商工・物流	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	・まず、マクロに関する座学を行いつつ自社の課題を抽出し、その課題をマクロを活用し解決する、という流れで支援を実施したが、マクロの習熟が進んでいなかったり、自社の課題にマクロを落とし込み切れなかったりといった事例があった。 ・そのため、令和7年度においては、マクロに関する座学を8回、企業への現地訪問を5回に増加し、より、課題が解決できるよう支援を厚くする。	
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
		施策	05 地域経済におけるDXとGXの推進				
	分野						
	政策						
	施策						
	担当課等	産業振興課	その他(特記事項)		事業はR6年度より実施		

2-5

事業 2-5	ものづくり 基本計画	方針(付加価値を高める生産力づくり)			令和6年度		
	事業名	産学連携事業 (産学共同研究委託事業)		予算額	80,032千円の一部		
				決算見込額	77,027千円の一部		
	事業概要	高度な知識・技術・ノウハウを持つ大学等と共同で取り組む調査・研究・開発を支援		取組状況	事業結果	・基礎コースでは、主に「調査研究や技術・サービスの向上」に係る課題で、新たな提案と具体策が見込め、将来性が期待できるものを採択。 ・応用コースでは、主に「ものづくり系」に関する課題で、基礎的な研究が既にできているもので、事業終了時に必ず試作品ができ、数年内に実用化(商品化)が見込めるものを採択。 ・発展コースでは、基礎コースまたは応用コースを経験した後、数年内の課題で、研究が既に終了し、実用化(商品化)を目的とするものを採択。 ・委託期間令和6年7月初旬～令和7年2月末日 ・委託契約件数 9件 ・令和7年3月19日に委託研究の成果発表会を行った。	
	達成指標	委託契約件数 6件/年		進捗率等	R7.3.31 現在	9件/年	(達成率)150(%)
	総合計画の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・基礎、応用、発展と各コースごとの特徴が出ており、コースの内容がほぼ定着しつつあるが、研究が終了し出口戦略を目的とする発展コースについては、提案事業者のみで効果的な計画を立てられないことが多い。 ・そのため、次年度以降発展コースでは専門的なアドバイザーアドバイザーの配置を必須とするよう令和7年度より公募要項に明記し、必要経費として盛り込む予定である。
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
		施策	01 協働・共創体制の構築				
		分野					
		政策					
	施策						
担当課等	産業政策課		その他 (特記事項)				

2-6

事業 2-6	ものづくり 基本計画	方針(付加価値を高める生産力づくり)			令和6年度		
	事業名	新商品開発支援事業 (静岡おみやプロジェクト)		予算額	80,032千円の一部		
				決算見込額	77,027千円の一部		
	事業概要	新商品開発に向けた開発から販売まで一貫したマーケティング手法の習得を支援		取組状況	事業結果	・地域資源を活用した新商品開発をマーケティングを学びながら実践することで、事業者の商品開発力を向上させた。 ・令和6年度からは、開発対象を食品全般に拡大したことに加え、支援期間を1年間から2年間に拡充し新たに「販促フェーズ」を設けたことで、より出口に近い支援を実施した。 ・プロジェクト期間 令和6年6月中旬～令和7年3月末 ・参加事業者数 6社 ・マーケティング戦略に基づいた6商品が3月時点で完成	
	達成指標	新商品開発件数 6件/年		進捗率等	R7.3.31 現在	6件/年	(達成率)100 (%)
	総合計画の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・旧おみやプロジェクトにおいて、参画事業者の減少や固定化がみられること、「おみや(＝お土産)」にこだわらない食品開発支援を望む声があったことから、令和6年度から商品開発プロジェクトへとリニューアルしたため、その効果を検証するとともに、募集要項やテーマなどを再検討することで、事業者の求める商品開発支援プロジェクトとしていく。	
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
		施策	05 地域経済におけるDXとGXの推進				
		分野					
		政策					
	施策						
担当課等	産業政策課		その他 (特記事項)				

2-7

事業 2-7	ものづくり 基本計画	方針（付加価値を高める生産力づくり）			令和6年度		
	事業名	海洋産業共創事業		予算額	9,221 千円		
				決算見込額	9,221 千円		
	事業概要	好循環を生み出すための産業クラスターを構築することによる海洋関連産業の育成		取組 状況	事業結果	・支援対象となる企業等の発掘のため、企業や大学等研究機関を対象としたセミナー・交流会をMaOI機構と連携して開催し、特定テーマの事業化に興味を持つ企業とのつながりを作るとともに、継続してフォローを実施している。 ・海洋関連機器開発の実海域における事業化に向けた実証実験の 手続や関係者調整の支援を実施した。 【実績】 ・共同研究等支援の件数 3件 ・実海域実証支援の件数 8件 合計支援件数 11件	
	達成指標	支援件数 6件/年		進捗 率等	R7.3.31 現在	11件/年	(達成率)183.3 (%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・2016年設立の静岡市海洋産業クラスター協議会は、本市の地の利を活かした新産業＝海洋産業創出に向けて、産学官の連携により、地元発の先行的な取組みを生み出す役割を担ってきた。 ・その後の社会的背景として、世界では、SDGs、GX、DXの新たな潮流の発生、地域では、清水港・駿河湾を世界的な海洋研究拠点化とする機運拡大、静岡県出資のMaOI機構の設立など、海洋分野を取り巻く環境は、年々変化し、重要性が高まっている。 ・そのような内外の環境変化に対応するため、本協議会は令和7年度に解散し、今後、市としては、海洋産業振興に向け、研究開発、人材育成、みなとまちづくりなどを総合的・一体的に推進するため、BX(Blue Transformation＝海の社会変革・技術革新)を実現していく。
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
施策		02 本市産業特性の活用					
	分野						
	政策						
	施策						
	担当課等	BX推進課		その他 (特記事項)	令和6年度で終了		

2-8

事業 2-8	ものづくり基本計画		方針(付加価値を高める生産力づくり)			令和6年度				
	事業名		グリーン産業創出支援事業		予算額		12,000 千円			
					決算見込額		6,328 千円			
	事業概要		脱炭素化に資する新技術や新商品の開発・実証事業等に対する経費の助成		取組状況	事業結果	・脱炭素社会の実現に資する新技術開発等補助金を実施した。 ＜採択件数＞ ・調査事業:1件(水素利用) ・新技術開発、研究事業:2件(ブルーカーボン、バイオマス)			
	達成指標		補助採択件数 4件/年		進捗率等	R7.3.31 現在	3件/年		(達成率)75 (%)	
	総合計画の位置付け(分野別)		分野	④生活・環境分野		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	・HP等での周知に加え、企業への個別のアプローチは行っていたものの、当該補助事業のニーズは少なく目標未達成となった。 ・このため、当該事業は、令和6年度をもって廃止するものの、過去の補助事について、社会実装に向けた伴走支援を行っていく。		
			政策	01 地域脱炭素の取組を加速させます						
			施策	02 省エネルギーの推進						
			分野							
			政策							
		施策								
担当課等		GX推進課		その他(特記事項)		「グリーン産業創出支援事業」は令和6年度をもって制度廃止				

2-9

2-9

事業 2-9	ものづくり 基本計画	方針(付加価値を高める生産力づくり)			令和6年度	
	事業名	中小企業者省エネルギー設備導入事業助成	予算額		0千円	
			決算見込額		0千円	
	事業概要	CO2削減の意識醸成を図り、省エネルギー化 に向け、省エネルギー設備の導入経費を助成	取組 状況	事業結果	—	
	達成指標	CO2排出量50%以上削減(R12)	進捗 率等	R7.3.31 現在		(達成率)(%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	④生活・環境分野	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	—
		政策	01 地域脱炭素の取組を加速させます			
		施策	02 省エネルギーの推進			
	分野					
	政策					
	施策					
	担当課等	GX推進課		その他 (特記事項)	「中小企業者省エネルギー設備導入事業助成」は令和5年度をもって制度廃止	

2-10

事業 2-10	ものづくり 基本計画	方針(付加価値を高める生産力づくり)				令和6年度	
	事業名	オクシズ漆の里構想事業		予算額		7,350 千円	
				決算見込額		7,350 千円	
	事業概要	ウルシを育て、漆を製品化し、地場産業等で活用する「漆の地産地消」体制の構築		取組状況	事業結果	・達成に向けて、植樹地の所有者に対し、苗や肥料の提供を行っているほか、市有林においては、草刈りや防護柵の管理を行うことで、既存の植樹地の維持管理をしている。 ・令和6年度においては、森林総合研究所と連携した植樹地調査を実施しているほか、漆に関して多くの方に理解いただき、活動に賛同いただくために「オクシズ漆の学校」などの研修会、漆の未利用材を活用した商品の開発・販売、イベント等への出展を行った。 ①植樹地(3.155ha)の管理者への支援・・・実施 ②研修会等の開催回数・・・5回	
	達成指標	植樹地の維持		進捗率等	R7.3.31 現在	植樹地の維持	— (%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑧農林水産分野		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・令和元年度から始めた試験植樹は令和7年度に7年目を迎えるが、野生動物による被害を受けたり、日照時間が短い植樹地においては、生育に時間を要している。 ・その中でも、漆が掻ける程の個体が数本確認できているため、今後、漆掻きを実施し、市内重要文化財に使用するために、文化政策課をはじめとした関係各所と調整を進めていく。
		政策	04 オクシズの地域資源の保全と活用を推進します				
		施策	02 オクシズ地域に受け継がれてきた文化や産業の活用				
		分野					
		政策					
	施策						
担当課等	中山間地振興課		その他 (特記事項)		事務事業評価における成果指標の見直しに伴い、これに合わせて達成指標の内容を変更した。		

3-1

事業 3-1	ものづくり 基本計画	方針(顧客から求められる販売・営業力づくり)			令和6年度	
	事業名	持続的発展に向けた競争力強化事業助成	予算額		12,000 千円	
			決算見込額		11,677 千円	
	事業概要	付加価値を高める競争力・販売力の強化に向け、販路開拓と新商品開発に係る経費を助成	取組 状況	事業結果	・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、展示会に対する需要が回復したため、主に展示会参加を目的に当補助金の利用が好調であった。 ・事業活用件数:39件	
	達成指標	事業活用件数 33件/年	進捗 率等	R7.3.31 現在	39件/年	(達成率)118 (%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業 次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・国内外問わず、新商品開発から販路拡大、効果促進事業を総合的に支援し、新規取引先開拓による地域産業の発展を図る。	
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します			
		施策	03 新製品・技術開発に向けた支援			
産業振興 プランの 位置づけ	分野					
	政策					
	施策					
担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)			

3-2

事業
--

3-3

事業 3-3	ものづくり 基本計画	方針(顧客から求められる販売・営業力づくり)			令和6年度		
	事業名	首都圏販路拡大支援事業	予算額		14,800 千円		
			決算見込額		14,708 千円		
	事業概要	テストマーケティングを通じた商品開発、商談会による商品開発力や商談力の向上を支援	取組 状況	事業結果	・圏域の参加事業者7者に対してマーケティング勉強会を2回開催した。 ・首都圏消費者のニーズ調査結果をもとに商品コンセプト、戦略等を策定し各事業者1品、計7品の商品開発を行った。 ・無印良品銀座店でテストマーケティングを行い、その結果をもとに商品、パッケージ等の改良を行った。 ・日本百貨店にほんばし總本店、無印良品銀座店、ヴィノスやまざきたまプラザテラス店でテスト販売を行い結果を共有した。 【開発した商品】 有限会社西尾商店(静岡市):いわし調味料 有限会社和田清商店(静岡市):和三盆抹茶 梅工房おおいし(島田市):味付きほぐし梅 寺岡銑吉商店(焼津市):まぐろの佃煮 藤栄製茶(藤枝市):玄米茶のブレンドティー M.みかん合同会社(牧之原市):じゃばらサイダー 株式会社エナジーファーム(川根本町):さつま芋羊羹		
	達成指標	事業進捗率	進捗率等	R7.3.31 現在	100%	(達成率)100 (%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・R6年度に実施したテスト販売結果及びR7年に実施する販路開拓の過程で得た意見をもとに、R7年度においても必要に応じて商品改良を加え、2か年が終了した際に商品開発と販路開拓の両方が達成できている状況にする。	
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します				
		施策	01 新市場・販路開拓に対する支援				
	分野						
	政策						
	施策						
	担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)			

3-4

事業 3-4	ものづくり 基本計画	方針(顧客から求められる販売・営業力づくり)			令和6年度		
	事業名	中小企業の海外展開に対する支援	予算額		7,900 千円		
			決算見込額		7,846 千円		
	事業概要	海外展開に向けたテストマーケティングや商談会、営業代行等の支援の実施	取組 状況	事業結果	・台湾への販路拡大支援として、台湾企業との商品開発、台湾店舗によるテスト販売、受託事業者によるオンライン商談会、営業代行を実施した。 ・商談件数は32件、成約件数はR6以前からの継続案件も含めて37件となった。 ・商品開発は、藤枝市の「TEASEVEN」と台湾の「松園食品」がほうじ茶麵を開発した。 ・テスト販売は台湾にある「ロイヤルパーク」11店舗で行い、開発したほうじ茶麵を使用した食事や圏域事業者のほうじ茶を使用したデザート、ドリンクバーでのほうじ茶・抹茶を提供をした。台湾で流行しているほうじ茶をテーマとしたことから現地で好評であった。		
	達成指標	商談件数 36件以上/年	進捗 率等	R7.3.31 現在	32件/年	(達成率)88.8 (%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・単年度で契約が成立するものばかりではなくR6年度以前に商談を開始していた案件が成約に至ることもあるため継続した支援を行う必要がある。 ・台湾におけるニーズを考慮したうえで、テスト販売や商品開発を実施していく。	
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します				
		施策	01 新市場・販路開拓に対する支援				
		分野					
	政策						
	施策						
担当課等	産業振興課	その他 (特記事項)					

3-5

事業 3-5	ものづくり 基本計画		方針(顧客から求められる販売・営業力づくり)			令和6年度		
	事業名		日本貿易振興機構静岡貿易情報センター事業助成		予算額		3,959 千円	
					決算見込額		3,959 千円	
	事業概要		静岡貿易情報センターへの助成によるスケールメリットを生かした海外展開等を支援		取組状況	事業結果	・セミナー開催件数全体が前年度の7割にとどまり市内での開催件数も目標を下回った。 【セミナー内容】 ・茶業関係者に向けた取組紹介・意見交換 ・輸出担当者向け貿易実務(初級) ・寄船寄港に係る意見交換 【相談内容】 ・貿易投資に関する相談 438件 ・海外販路拡大の一貫支援、輸出の個別支援等の相談サービスの利用 68件	
	達成指標		セミナー開催回数 6件/年		進捗率等	R7.3.31 現在	3件/年	(達成率)50(%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)		分野	—	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・セミナー開催がオンラインから現地中心となり、セミナー全体の開催件数が減少したことにより静岡市内でのセミナー件数も目標に届かなかった。 ・海外進出意欲のある中小製造事業者に対して、(独)日本貿易振興機構主催のセミナーへの参加や相談を促すことにより、同機構の認知度向上や海外展開支援メニューの利用促進に繋げ市内企業の海外展開に貢献していく。	
			政策	—				
			施策	—				
		分野						
		政策						
		施策						
担当課等		産業振興課		その他 (特記事項)				

3-6

事業 3-6	ものづくり 基本計画	方針(顧客から求められる販売・営業力づくり)			令和6年度		
	事業名	伝統工芸等ものづくり事業者支援事業	予算額		4,094 千円		
			決算見込額		4,078 千円		
	事業概要	商品開発、各種プロモーション、販路開拓までをプロデューサー指導のもと各種支援の実施	取組状況	事業結果	意欲的な伝統工芸等の異業種でのものづくり職人を対象に商品開発、ブラッシュアップを行い、各種プロモーション活動を展開。さらに首都圏展示館出展等をはじめ販路開拓を実施した。 ・参加職人：木工指物、挽物、和染、蒔絵、畳、アクリル加工等 ・新規開発品：4点 ・プロモーション活動：HP及び各種SNSでの発信 ・展示会出展：ギフトショー(ビッグサイト)出展、ててて商談会(スパイラルホール)他 ・販路開拓：駿府楽市での企画販売、常設化、HP及びカタログ作成、ECサイト立上げ		
	達成指標	展示会等出展 1回/年	進捗率等	R7.3.31 現在	1回/年	(達成率)100 (%)	
	総合計画の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・これまでの実施により商品開発やブラッシュアップを多数実施でき、ECサイトでの販売も達成されている。 ・本事業は今年度をもって一区切りをつけるが、この成果を生かし、今後は新たな市場リサーチを始め総合的な工芸品開発を行い、内外に広く販路を拡大していく事業へと進化発展させていく。	
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します				
		施策	01 新市場・販路開拓に対する支援				
	分野						
	政策						
	施策						
	担当課等	産業振興課	その他 (特記事項)				

3-7

ものづくり基本計画		方針(顧客から求められる販売・営業力づくり)		令和6年度		
事業	事業名	ニューウェーブしずおか創造事業助成(地場産業支援事業)	予算額		6,437 千円	
			決算見込額		6,405 千円	
	事業概要	商品開発と販路開拓を行う「ニューウェーブしずおか創造事業」の実施経費の助成	取組状況	事業結果	・地元の意欲的地場産業者が参加し、プロデューサー指導のもと公募デザイナーとの協働により、デザイン開発を実施した。 ・試作を繰り返す。PRツール等を作成しつつHPやSNS等で告知し「東京インターナショナルギフトショー」に出展することで販路開拓を実施した。 【実施内容】 参加事業者:6者 公募デザイナー:6者 開発点数:20点 展示会出展:1回	
	達成指標	商品開発点数 延べ30点(R12)	進捗率等	R7.3.31 現在	20点(R5)	(達成率)66.7(%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	⑦商工・物流	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	・開発点数は出展者の製造品種や開発内容により、大きく左右される。 ・各チームの開発は充分に実施されている。今後は開発品の一層の商品化を図っていく必要がある。
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します			
施策		01 新市場・販路開拓に対する支援				
分野						
	政策					
	施策					
担当課等	産業政策課		その他(特記事項)			

3-8

事業 3-8	ものづくり 基本計画	方針(顧客から求められる販売・営業力づくり)				令和6年度	
	事業名	特産品展示コーナー(駿府楽市)運営事業		予 算 額		16,481 千円	
				決算見込額		16,478 千円	
	事業概要	地場産品の愛用促進と販路開拓に向け、駿府楽市「特産品展示コーナー」での企画展示		取組 状況	事業結果	・JR静岡駅アスティ静岡西館「駿府楽市」内の静岡市特産品展示コーナーにおいて、年間25回の展示会を開催した。 R6来場者数 350,690人 隣接する駿府楽市での工芸品のR6年間売上金額 42,200千円 ・季節や行事に合わせた展示会を行い、訪れる人々に工芸品の魅力を効果的に伝えることができた。	
	達成指標	工芸品の年間売上金額 31,600千円(R12)		進捗 率等	R7.3.31 現在	42,200千円	(達成率)134 (%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・固定客は一定数確保しているが、出展作品に変化がなく、来場者の興味を喚起しにくい状況である。 ・また、設立以来使用している什器の老朽化もあり、時代に合った展示設備への更新が必要である。 ・そのため、R8に予定されている店舗改修を機に、より効果的な展示コーナーへと改善することで、地場産業の認知度向上に努める。	
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します				
		施策	01 新市場・販路開拓に対する支援				
	分野						
	政策						
	施策						
	担当課等	産業政策課		そ の 他 (特記事項)			

3-9

事業	ものづくり基本計画	方針(顧客から求められる販売・営業力づくり)			令和6年度	
	事業名	産業フェアしずおか開催事業助成	予算額		14,550 千円	
			決算見込額		14,550 千円	
	事業概要	地元産品のPRと愛用促進による伝統工芸の振興を図るため、フェア開催経費を助成	取組状況	事業結果	・マンネリ化が指摘される中、R5より会場内レイアウトの見直しを実施したが、更に効果的な会場配置を行うなどして新鮮さを演出したことで来場者の増加につながった。	
	達成指標	来場者数 80,000人(R12)	進捗率等	R7.3.31現在	47,100人(R6)	(達成率)58.9 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	⑦商工・物流	事業評価	・来場者は年々増加しているが、更なる向上に向けて主催団体と連携を取りつつソーシャルメディアの更なる効果的利活用など時代に合った情報発信を積極的に行うことで新規来場者の発掘に務めるなど来場者の増加に繋げていく。 ・昨年度より取組んだ会場レイアウトの変更は概ね好評で、これを更に発展させ来場者にとって新鮮で見やすい展示内容としていく。	
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します			
		施策	01 新市場・販路開拓に対する支援			
		分野				
		政策		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		施策				
		施策				
	担当課等	産業振興課		その他(特記事項)		

3-10

事業	ものづくり基本計画	方針(顧客から求められる販売・営業力づくり)			令和6年度	
	事業名	伝統工芸品産業育成・振興事業(しずおか特産品まつり)	予算額		3,470 千円	
			決算見込額		3,470 千円	
	事業概要	市民に宣伝・PRし、業界の育成・振興を図るため、しずおか特産品まつりの開催	取組状況	事業結果	・春の市では二日目の天候が悪化し昨年よりやや来場者数は低かったが目標は大きく超えた。秋の市でも、同様に広報や事前PRに力を入れたことで目標を上回った。 来場者数:春の市10,000人、秋の市6,500人 ・来場者には、工芸品が身近に安く買えるイベントとして定着しており、リピーターの割合が高かった。	
	達成指標	来場者数(春・秋) 6,900人/年(R12)	進捗率等	R7.3.31現在	16,500人	(達成率)239.1 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	⑦商工・物流	事業評価	・前年度の結果を受け、イベントの周知に尽力した結果、前年度にほぼ近い来場者数を達成することが出来た。 ・より多くのメディアに取り上げてもらい来場者数を増やすため、報道資料の書き方や内容を改善するなど、今後も継続してPRや広報に力を入れていく。	
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します			
		施策	01 新市場・販路開拓に対する支援			
		分野				
		政策		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		施策				
		施策				
	担当課等	産業振興課		その他(特記事項)		

3-11

事業 3-11	ものづくり 基本計画	方針(顧客から求められる販売・営業力づくり)			令和6年度		
	事業名	ホビーのまち静岡推進事業	予算額		82,321 千円		
			決算見込額		80,845 千円		
	事業概要	市のブランドイメージと求心力の向上に向け、ホビー推進協議会静岡の事業に対する助成	取組状況	事業結果	市の地域資源であるホビーを活用し、「ホビーのまち静岡」として市内外に情報発信することで市のブランド化及び地域経済の活性化を図った。 ①ホビー推進協議会静岡が実施するホビーのまち静岡推進事業への補助金交付 (主な事業) ・クリスマスフェスタ ・ホビースクエア展示事業 ・市内ホビー関連イベントへの協力 ②静岡ホビースクエアの施設維持管理 ・大規模施設修繕を2件実施 ・警備、保守等の年間委託 ・光熱水費等の支払い ・管理組合への負担金、修繕積立金の納入		
	達成指標	市内イベント参加者の「ホビーのまち静岡」の認知度 80%(R12)	進捗率等	R7.3.31 現在	68.55%	(達成率)85.6 (%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑥観光・交流分野	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	引き続き、ホビー推進協議会静岡と連携し、効果的なシティプロモーション推進に取り組んでいく。また、静岡ホビースクエアが入居するサウスポート静岡は築26年が経過し、修繕件数が増えているため、ビル管理会社調整のうえ、計画的な修繕を実施する。	
		政策	01 国内外に誇れる地域資源を生かした観光を推進します				
		施策	02 模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり				
		分野					
	政策						
	施策						
	担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)			

3-12

事業 3-12	ものづくり 基本計画	方針(顧客から求められる販売・営業力づくり)				令和6年度	
	事業名	ホビー産業育成支援事業		予算額		2,629 千円	
				決算見込額		2,408 千円	
	事業概要	市の求心力の向上に向け、イベント、展示、パンフレット等によるホビー産業の情報発信		取組 状況	事業結果	本市が全国に誇る模型、プラモデルを活用したイベントや情報発信を行うことで、「ホビーのまち静岡」の認知度向上に努めた。 ①ミナト★ホビーフェス 【実施概要】 親子向け模型体験イベント 【会場】 エスパルスドリームプラザ 【来場者数】 1,616人 ※各種体験参加人数のみ集計 ②情報発信・PR静岡市と模型をテーマにしたパンフレット「模型の世界首都・静岡」を改訂(増ページ)し、各種イベント等で配布した。 【作成部数】 5,000部 【主な配布場所】 静岡ホビーション、市内模型イベント会場、ホビースクエア	
	達成指標	市内イベント参加者の「ホビーのまち静岡」の認知度 80%(R12)		進捗率等	R7.3.31 現在	68.55%	(達成率)85.6 (%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑥観光・交流分野		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 目標の 未達成 理由等	引き続き、模型関係団体や模型メーカーの協力を得て、イベントや情報発信に取り組むことで認知度向上に取り組んでいく。
		政策	01 国内外に誇れる地域資源を生かした観光を推進します				
		施策	02 模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり				
	分野						
	政策						
	施策						
	担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)			

3-13

事業 3-13	ものづくり 基本計画	方針(顧客から求められる販売・営業力づくり)				令和6年度	
	事業名	ブラモデル化計画推進事業		予算額		650 千円	
				決算見込額		65 千円	
	事業概要	模型業界と地元企業等のパートナーシップ構築を目的としたコラボイベントの創出		取組状況	事業結果	・企業・団体等と連携し、ブラモデルに関する連携イベントや、ブラモニュメントのグッズ化などを実施した。 ・コラボイベント事業 9件(親子模型フェス、老人福祉センターでの制作体験など) ・ブラモニュメントのグッズ化3件(ミニチュアキーホルダーなど)	
	達成指標	コラボイベントの実施件数 15件(R12)		進捗率等	R7.3.31 現在	9件	(達成率)60 (%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・コラボイベント事業についてはR5年度の7件を上回ることができたが、相手方が老人保健センターや市PTA連絡協議会等、固定化しているため、R7年度は積極的に新規の企業・団体とコラボイベントを実施し、取組を広げていきたい。
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
		施策	02 本市産業特性の活用				
	分野						
	政策						
	施策						
	担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)			

3-14

事業 3-14	ものづくり 基本計画	方針(顧客から求められる販売・営業力づくり)				令和6年度	
	事業名	地域産業振興ブランド認証事業		予算額		0千円	
				決算見込額		0千円	
	事業概要	市民が選ぶ「しずおか葵プレミアムAWARD」の認証・PRによるシティプロモーションの推進		取組 状況	事業結果	【認定】 令和元年度で、新規のブランド認定は終了 【情報発信実績】 ・イベントでの展示(計1回)	
	達成指標	ブランド認知度 55%/年		進捗 率等	R7.3.31 現在	49%/年	(達成率)89(%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	—		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	—
		政策	—				
		施策	—				
	分野						
	政策						
	施策						
	担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)		当事業は新規のブランド認定は終了しており、計画からの削除を検討	

3-15

事業 3-15	ものづくり 基本計画		方針(顧客から求められる販売・営業力づくり)			令和6年度	
	事業名	女性活躍ブランド認定事業	予算額		0千円		
			決算見込額		0千円		
	事業概要	女性活躍ブランドの認定によるモチベーションアップや取組波及等、女性の活躍を推進	取組状況	事業結果	【認定】 令和5年度で、新規のブランド認定は終了 【情報発信実績】 ・庁内における展示(計1回) ・イベントでの販売(計1回)		
	達成指標	ブランド商品認定数 延べ85件(R12)	進捗率等	R7.3.31 現在	45件	(達成率)53 ※R5までの認定件数(%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	—	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	より効果的なPR方法の開拓に努める。	
		政策	—				
		施策	—				
	分野						
	政策						
	施策						
	担当課等	男女共同参画・人権政策課		その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針(知識と技術をもち活かせる人づくり)		令和6年度	
	事業名	地場産業後継者育成事業 (クラフトマンサポート事業)		予算額	11,796 千円
				決算見込額	11,340 千円
	事業概要	「クラフトマンサポート事業」として地場産業界の後継者の確保、若手職人の育成・定着を支援		取組状況 事業結果	①現場実習短期支援事業新規2名 ②現場実習長期支援事業新規1名継続5名 ③独立支援事業 継続1名 ④雇用奨励金新規3名継続3名 ・短期支援の新規2名を開始した。2名全員が長期支援に移行し、継続中。 ・年度末での長期支援実施者は4名であり、職人育成は順調に進んでいる。 ・独立支援は前年度からの継続のみだが、補助金による支援により順調に経営が続いている。 ・雇用奨励は長期支援修了者3名に開始し、年度末現在も継続している。
	達成指標	新規制度利用者数(長期支援・雇用推奨) 延べ5人(R12)		進捗率等 R7.3.31 現在	4人 (達成率)80 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 ⑦商工・物流	政策 04 企業の活性化を支える多様な人材の活躍を推進します	施策 01 次世代を担う人材の育成	①実習者の途中挫折を減らすフォローが必要。実習者・指導者1人1人に対して個別的な対応を行っていく。 ②手続きの簡素化など、申請者の負担を減らす取り組みが必要。 雇用奨励については、令和4年度に制度見直しを行い、利用者数が増加したことで、若手職人の業界定着を図ることができた。制度設立から20年以上経過しているため、他の制度についても見直しを検討していく。
4-1	産業振興プランの位置づけ	分野	政策	施策	
		分野	政策	施策	
		分野	政策	施策	
	担当課等	産業振興課		その他(特記事項)	

事業	ものづくり基本計画	方針(知識と技術をもち活かせる人づくり)		令和6年度	
	事業名	伝統工芸技術アーカイブス事業		予算額	1,730 千円
				決算見込額	1,546 千円
	事業概要	伝統工芸技術で存続の危機にある技法を映像化等によりアーカイブし保存、継承を図る		取組状況 事業結果	業界調整により保存対象となる技術を決定し、うち下記技術を保存した。更に高い技術による工芸品作品を購入することでアーカイブを実施した。 ・技術保持職人による技術工程の映像制作:1本 (Blue-Ray 10枚、DVD20枚) ・工程サンプル製作:1セット ・アーカイブ対象技術:駿河蒔絵、駿河塗下駄、駿河和染 ・技術保持者:諸井治郎氏、佐野成三郎氏、鈴木健司氏 ・購入保存工芸品:駿河蒔絵、駿河塗下駄、蠟繻染 計3種
	達成指標	映像化本数 2本/年		進捗率等 R7.3.31 現在	1本/年 (達成率)50 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 ⑦商工・物流	政策 04 企業の活性化を支える多様な人材の活躍を推進します	施策 01 次世代を担う人材の育成	・後継者不在率が高い伝統工芸技術の映像アーカイブは、これまでの映像化により達成されてきた。 ・今後は後継者があっても保存に値する高い工芸技術の保持者を対象に映像化を実施していく必要がある。 ・但し技術者の高齢化は顕著であるため、技術者の健康状態を勘案しつつ実施していく必要がある。
4-2		分野	政策	施策	
		分野	政策	施策	
		分野	政策	施策	
	担当課等	産業振興課		その他(特記事項)	

4-3

事業	ものづくり基本計画	方針(知識と技術をもち活かせる人づくり)		令和6年度	
	事業名	地場産業支援事業助成(伝統工芸技術保存講習会)	予算額		1,890 千円
			決算見込額		1,815 千円
	事業概要	業界の若手後継者に対する「伝統工芸技術保存講習会」の実施に係る経費の助成	取組状況	事業結果	地元熟練職人を講師に、後継者となる若手職人が受講者となり夜間講習にて開催した。 開催部門:木工、拭漆、竹、漆器、蒔絵(5部門) 参加者:地元業界従事者 41名 ①木工指物の部:令和6年7月～12月(17日間) (受講者)地元木工業界従事者9名 ②駿河竹千筋細工の部:令和6年9月～12月(11日間) (受講者)地元木工業界従事者9名 ③拭漆の部:令和6年10月～12月(10日間) (受講者)地元木工業界従事者7名 ④漆器の部:令和6年5月～9月(20日間) (受講者)地元漆器業界従事者10名 ⑤蒔絵の部:令和6年10月～令和6年3月(20日間) (受講者)地元蒔絵業界従事者9名
	達成指標	講習会参加者数 延べ36名(R12)	進捗率等	R7.3.31 現在	41名 (達成率)113.8 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 ⑦商工・物流 政策 04 企業の活性化を支える多様な人材の活躍を推進します 施策 01 次世代を担う人材の育成	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	・講師の高齢化や減少による人材不足は避けがたく、中堅職人の選定を増加させているが、一層の若手化を図る必要がある。 ・高度技術のコース設定も検討していたが職人の枯渇により実施困難となったため、異なる方向性のコースを検討していく。
	担当課等	産業振興課	その他(特記事項)		

4-4

事業	ものづくり基本計画	方針(知識と技術をもち活かせる人づくり)		令和6年度	
	事業名	中小企業DX等人材育成支援事業	予算額		3,000 千円
			決算見込額		705 千円
	事業概要	中小製造事業者の競争力強化を図るため、事業者が在職者のリスクリングに取組む際の受講費の一部を助成	取組状況	事業結果	・中小企業DX等人材育成支援事業補助金を実施し、11社に対して、自社社員が職業訓練等を受講するために企業が負担する費用の一部を支援した。
	達成指標	人材育成に取組む中小製造事業者の割合 90%(R12)	進捗率等	R7.3.31 現在	61% (達成率)67.8 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 ⑦商工・物流 政策 04 企業の活性化を支える多様な人材の活躍を推進します 施策 01 次世代を担う人材の育成	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	・事業の周知をポリテクセンター静岡や静岡県立工科短期大学校を通じて実施したが、事業者に対して周知が行き届かず、利用件数が想定を下回った。 ・令和7年度は、補助の対象となる講座をポリテクセンター静岡等の公的機関に限定せず、申請者にとって有効と認められる場合は、民間の教育サービスを実施した際にも補助の対象となるよう補助金を運用する。
	担当課等	産業振興課	その他(特記事項)		

4-5

事業	ものづくり基本計画	方針(知識と技術をもち活かせる人づくり)				令和6年度	
	事業名	技能功労者表彰事業		予算額		644 千円	
				決算見込額		462 千円	
	事業概要	市の産業の向上に寄与し、又は功績のあった技能者を静岡市技能功労者として表彰		取組状況	事業結果	・静岡市技能功労者を16者を表彰した。	
	達成指標	表彰者数 26者/年		進捗率等	R7.3.31 現在	16者/年	61.5(達成率) (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	—	事業	次年度に向けた改善点 ・ 目標の未達成理由等	・技能団体からの推薦減少により、受賞者数が減少傾向にある。 ・そのため、応募要件について、関係団体との連携を通じ、受賞対象者の確保に取り組む。	
		政策	—				
		施策	—				
	分野		評価				
	政策						
	施策						
担当課等	産業政策課		その他(特記事項)				

4-6

事業 4-6	ものづくり 基本計画	方針(知識と技術をもち活かせる人づくり)				令和6年度	
	事業名	CSR活動表彰事業		予算額		千円	
				決算見込額		千円	
	事業概要	事業活動の維持拡大と社会的健全性のある経営を実施する中小企業を表彰		取組状況	事業結果		
	達成指標	表彰者数 4者/年		進捗率等	R7.3.31 現在	(達成率) (%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	—	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等		
		政策	—				
		施策	—				
	分野						
	政策						
	施策						
担当課等	産業政策課		その他 (特記事項)		R5年度で終了		

4-7

事業 4-7	ものづくり 基本計画	方針(知識と技術をもち活かせる人づくり)			令和6年度		
	事業名	伝統工芸技術秀士顕彰・PR事業		予算額		150千円	
				決算見込額		0千円	
	事業概要	本市の優れた伝統工芸の技術を継承するため優れた技術の保持者を顕彰・PR		取組 状況	事業結果	・顕彰対象者を検討したが候補者の該当者が居らず選定に至らなかった。	
	達成指標	表彰者数 1者(R12)		進捗 率等	R7.3.31 現在	0者	(達成率)0(%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・平成29年以降は指定者無となっている。顕彰者のレベル低下にならない範囲での更なる候補対象者の幅の拡大を検討していく。	
		政策	04 企業の活性化を支える多様な人材の 活躍を推進します				
		施策	01 次世代を担う人材の育成				
		分野					
		政策					
	施策						
担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)				

4-9

4-9

事業	ものづくり基本計画	方針(知識と技術をもち活かせる人づくり)			令和6年度		
	事業名	多様な人材の活躍応援事業所表彰事業及び取組の見える化	予算額		1,161 千円		
			決算見込額		1,156 千円		
	事業概要	女性をはじめとした多様な人材の活躍促進に積極的に取組む事業所を表彰	取組状況	事業結果	・多様な人材の活躍応援事業所表彰事業を実施した。 表彰事業者数 6社 ・関係機関を通じて募集活動を行うなど、応募事業者の増加に努めた。 ・制度及び受賞企業の認知度向上のため周知に努めた。 企業表彰式の開催 いきいきワークスタイル通信の更新 表彰企業紹介冊子の作成		
	達成指標	表彰者数 5者/年	進捗率等	R7.3.31 現在	5者	(達成率)120 (%)	
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	—	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	・表彰事業の認知度向上のため、今後も継続して各支援機関を通じて企業への情報提供に取り組む。また、募集の広報を手厚くし、表彰企業数を確保する。	
		政策	—				
施策		—					
	分野						
	政策						
	施策						
担当課等	商業労政課		その他(特記事項)				

4-10

事業 4-10	ものづくり 基本計画	方針(知識と技術をもち活かせる人づくり)			令和6年度		
	事業名	ダイバーシティ経営推進のための中小企業支援事業(ダイバーシティ経営推進講演会開催事業)	予算額		630千円		
			決算見込額		110千円		
	事業概要	経営者・管理職を対象とした講演会等による多様な人材が活躍できる環境づくりの推進	取組状況	事業結果	・静岡市内に本社・支店・営業所、取引先を有する企業等を対象にワークショップ形式のダイバーシティ経営診断シート活用塾を開催 ・参加企業数:7社9人		
	達成指標	事業がダイバーシティ経営推進に取り組むきっかけとなったと回答した企業の割合90%/年	進捗率等	R7.3.31 現在	100%	(達成率)111(%)	
	総合計画の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・多様な人材の活躍応援事業所表彰と一体的にダイバーシティ経営推進を実施していく。	
		政策	04 企業の活性化を支える多様な人材の活躍を推進します				
		施策	02 良質な就労環境の創出				
	分野						
	政策						
	施策						
	担当課等	商業労政課		その他 (特記事項)			

5-1

		ものづくり基本計画		方針(地域産業を学び支える人づくり)		令和6年度	
事業	事業名	ブラモデル化計画推進事業 (ものづくりブラモデル大学)		予算額		1,700 千円	
				決算見込額		1,177 千円	
	事業概要			取組状況	事業結果	・「模型の世界首都・静岡」を支える人材を育成するため、ブラモデル業界の各方面で活躍する方々を講師に迎え、全10回の講座を実施した。 ・令和6年度受講生30名、修了生28名。 ・これまでの修了生は、ブラモデル制作体験イベントの開催や、模型喫茶の開店、ホビー知識を活かした市内観光ガイド等、本講座で学んだノウハウを自身の活動に活かし、「模型の世界首都・静岡」を盛り立てている。	
	達成指標	講座受講者の満足度 80%		進捗率等	R7.3.31 現在	80.6%	(達成率)100 (%)
5-1	総合計画の位置付け(分野別)	分野	⑦商工・物流		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	・よりビジネスや社会活動につながる実践的な講義内容の再検討(ブラモデル制作体験の企画・運営方法を学び、実際にイベントを開催する、ブラモデルメーカーの商品企画プロセスを学びながら、現役社員と一緒に企画提案体験をするなど)
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
		施策	02 本市産業特性の活用				
	産業振興プランの位置づけ	分野					
		政策					
施策							
担当課等	産業振興課			その他(特記事項)			

5-2

事業 5-2	ものづくり基本計画	方針(地域産業を学び支える人づくり)			令和6年度	
	事業名	プラモデル化計画推進事業 (ものづくりキャリア教育)		予算額	0千円	
				決算見込額	0千円	
	事業概要	静岡大学教授及び模型メーカー社員を講師として学校へ派遣し、本市のプラモデル産業を知り・体験し・理解する「ものづくりキャリア教育推進事業」を実施。	取組状況	事業結果	・模型メーカーと連携し、市内の小学校を対象にプラモデルを活用した出前授業を実施し、プラモデルの魅力、ものづくりに興味関心を高めた。 【実施校数】 15校 【参加児童数】 1,046名	
	達成指標	授業を通じてものづくりに興味を持った児童の割合 90%	進捗率等	R7.3.31 現在	90%	(達成率)100(%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 ⑦商工・物流	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	・校長会での案内に加え、当課から各小学校への直接連絡や静岡ホビーショー参加小学校(40校)へのチラシ配布等、事業を周知する機会を増やしたが、申し込みは昨年度とほとんど変わらなかった。 ・別の周知の方法を検討し、本事業の認知度向上に努める。	
		政策 01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
施策 02 本市産業特性の活用						
	分野					
	政策					
	施策					
	担当課等	産業振興課		その他(特記事項)		

5-3

事業	ものづくり基本計画	方針(地域産業を学び支える人づくり)		令和6年度	
	事業名	プラモデル化計画推進事業 (静岡ホビーショー小中高生招待)	予算額		4,540 千円
			決算見込額		4,347 千円
	事業概要	静岡ホビーショー小中高生招待日において、市内小中高生の招待事業の実施及び模型メーカー等と協力した合同体験会の運営	取組状況	事業結果	・静岡ホビーショー小中高生招待日において、市がバスを借り上げ、市内小中高生をホビーショーへ招待した。また、模型メーカーほか10企業・1団体と協働で小学生向けの合同体験会を実施し、多くの児童生徒にプラモデルの魅力に触れる機会を創出した。 【小中高生招待参加者数】 3,696人 【合同体験エリア参加者数】 小学生計1,090人(参加児童の約4割)
	達成指標	招待事業を通じてものづくりに興味を持った児童の割合 90%	進捗率等	R7.3.31 現在	92% (達成率)102 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 ⑦商工・物流	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	短時間で体験できるキットを用いた回転率の高い体験会運営や、体験会スペースの拡張により、体験会の定員を増やす。これにより、ホビーショー小中高生招待日参加児童のうち、体験に参加できない児童の割合を更に減らしていく。
		政策 01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します			
		施策 02 本市産業特性の活用			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			
事業	総合計画の位置付け(分野別)	分野	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策			
		施策			

5-5

事業 5-5	ものづくり 基本計画	方針(地域産業を学び支える人づくり)				令和6年度	
	事業名	子どもクリエイティブタウンでの職場体験等		予算額		128,116 千円	
				決算見込額		123,593 千円	
	事業概要	ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次世代を担う人材を育成		取組 状況	事業結果	・しごと、ものづくり講座などの各事業を通じて、商店街をはじめとした地元事業者や学校等と連携し、子どもたちに様々な体験の場を提供した。 ・しごと、ものづくり講座数:281講座(目標240講座) ・学校、団体利用数:150校(目標40校)	
	達成指標	年間利用者数 100,000人/年		進捗 率等	R7.3.31 現在	124,640人	(達成率)124.5 (%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・利用制限の完全撤廃や各種講座等の通常運営に伴い、コロナ禍以降初の年間利用者数の目標達成となった。 ・引き続き、地元企業や学校等との連携を強化し、普段体験できない実践的なしごと・ものづくり体験を通じて、地域産業に対する学ぶが深まる事業を実施していく。	
		政策	04 企業の活性化を支える多様な人材の活躍を推進します				
		施策	01 次世代を担う人材の育成				
	分野						
	政策						
	施策						
	担当課等	商業労政課		その他 (特記事項)			

5-6

事業 5-6	ものづくり 基本計画	方針（地域産業を学び支える人づくり）				令和6年度	
	事業名	地場産品体験学習事業		予算額		4,900 千円	
				決算見込額		4,785 千円	
	事業概要	ものづくりと地場産品に対する興味を喚起し、 地場産業のPRと将来の後継者育成を図る		取組 状況	事業結果	・申込児童数:2,244人 ・各学校への本事業の申し込み案内等の再通知など体験学習に関する 情報共有を通じて、本事業の周知を図った。 ・4月に開催された校長会での事業説明を実施した結果体験学習申込学 校数は38校となった。	
	達成指標	体験学習申込学校数 延べ40校（R12）		進捗 率等	R7.3.31 現在	38校	（達成率）95（％）
	総合計画 の 位置付け （分野別）	分野	⑦商工・物流	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・児童数の減少、学習指導要領の改正、バスの運転手不足といった外的 要因もある中で、国語科の「未来につなぐ工芸品」という単元や社会科の 「静岡市について知ろう」などで指導要領に沿ったコンテンツであることを 周知し、申込学校数の増加を促進する。	
		政策	04 企業の活性化を支える多様な人材の 活躍を推進します				
		施策	01 次世代を担う人材の育成				
	分野						
	政策						
	施策						
	担当課等	産業振興課		その他 （特記事項）			

5-7

事業	ものづくり基本計画		方針(地域産業を学び支える人づくり)		令和6年度		
	事業名	駿府匠宿運営事業		予算額		201,277 千円	
				決算見込額		200,098 千円	
	事業概要	駿府匠宿の運営及び創作体験や展示を通じた工芸に親しみ歴史に触れる機会の提供		取組状況	事業結果	・来場者数 149,508人 ・創作体験者数 35,463人 ・利用者満足度 96.5% ・指定管理者の創意工夫により創作体験の改善、多様なニーズに答えたことにより、創作体験者の増加や利用者満足度の目標の達成がなされた。	
	達成指標	利用者満足度 95%(R12)		進捗率等	R7.3.31 現在	96.5%	(達成率)101.6 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	⑦商工・物流	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	・指定管理者の創意工夫により、創作体験の改善、SNSを活用した広報戦略の実施などが功を奏し、利用者満足度とも目標を上回った。指定管理者および地場産業界と連携して施設のさらなる魅力向上を図る。	
		政策	04 企業の活性化を支える多様な人材の活躍を推進します				
		施策	01 次世代を担う人材の育成				
	分野						
	政策						
	施策						
担当課等	産業振興課		その他(特記事項)				

5-9

事業	ものづくり基本計画	方針(地域産業を学び支える人づくり)			令和6年度		
	事業名	地元就職・UIJターン就職促進事業	予算額		14,334 千円		
			決算見込額		13,013 千円		
	事業概要	市内で働く社会人との交流機会を提供し、若者の企業研究や就労意欲の促進を図る	取組状況	事業結果	・若者の市内企業研究の促進及び市内企業への就職促進を目的とするものであり、市内への就職関心度の向上を目指している。 ・令和6年度においては、交流会の実施、就職支援情報誌の発行、HPの管理運用、ワークショップ等のキャリア形成支援プログラムを実施し、市内企業への就職関心度、本事業が進路決定の参考になった割合ともに9割を超えるといった効果があった。 ・交流会の実施:4回 ・就職支援情報誌:発行 ・プログラム実施校数:14校		
	達成指標	将来の職業の選択肢が広がった回答の割合90%/年	進捗率等	R7.3.31現在	将来の職業の選択肢が広がった回答の割合90%/年	(達成率)100(%)	
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	⑦商工・物流	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	・就職関心度や進路決定の参考になった割合としては、目標数値を達成することができている。引き続き、市内企業と学生等との交流機会の創出、市内企業の情報発信を行うことで、目標の達成に努める。	
		政策	04 企業の活性化を支える多様な人材の活躍を推進します				
		施策	03 人材と企業の交流の場の創出				
	分野						
	政策						
	施策						
	担当課等	商業労政課	その他(特記事項)				

5-11

事業 5-11	ものづくり基本計画		方針(地域産業を学び支える人づくり)		令和6年度		
	事業名	地域産業地域おこし協力隊		予算額		6,700 千円	
				決算見込額		6,104 千円	
	事業概要	地域おこし協力隊により地場産品・伝統工芸品の情報発信の強化、販売促進、担い手育成の支援を実施		取組状況	事業結果	・令和6年9月1日から地域おこし協力隊員として2名任命 ・デジタルツールを活用したPRの実施、EC強化・拡充、Webサイトの見直し、顧客調査分析、新商品開発、伝統工芸品利活用企画などの事業を実施した。	
	達成指標	地域おこし協力隊の隊員数2名		進捗率等	R7.3.31 現在	2名	(達成率)100 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	・各隊員の地場産品・伝統工芸品の情報発信の強化、販売促進、担い手育成の支援などの活動に対して、地域おこし協力隊活動支援団体と連携していく。	
		政策					
		施策					
	分野						
	政策						
	施策						
	担当課等	産業振興課		その他(特記事項)			

5-12

事業 5-12	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)				令和6年度	
	事業名	オープンファクトリー推進事業		予算額		2,000 千円	
				決算見込額		1,270 千円	
	事業概要	産官連携による工場見学・ものづくり体験を基軸とした地域活力の向上を図る		取組状況	事業結果	・令和6年10月に「ファクハク 静岡工場博覧会2024」を開催。 ・市内34社が自社工場を公開し、延べ1,640名の市民が参加した。 ・ファクハクへの参加が自社にとって有益とらえた企業が93.55%となり、目標を上回った。 ・参加した市民のうち92.5%が「とても楽しかった」と回答しており、静岡市の製造業の魅力を発信することができた。	
	達成指標	オープンファクトリーへの参加が自社にとって有益だったと捉えた企業の割合70%(R5)		進捗率等	R7.3.31 現在	オープンファクトリーへの参加が自社にとって有益だったと捉えた企業の割合93.55%	(達成率)133.5 (%)
	総合計画の 位置付け (分野別)	分野	—	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・総合案内所等において、一般の通行人が「イベントを知らなかった」という声が聞かれたことから、イベント自体の認知度向上に注力する必要がある。 ・広報誌への掲載やSNS、首都圏への発信など、静岡市が持つ媒体を活用してより多くの市民に対して認知度が高まるよう取り組む。	
		政策	—				
		施策	—				
		分野					
		政策					
	施策						
担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)				